

《説明会における質疑応答及びご意見》

【質疑応答】

質問	回答
昨年の11月の説明会と今回の説明会の違いは何か。	周辺の道路工事の状況や整備区域内の図面など進捗があったものに関して、資料を更新している。また、事業期間が令和6年度まで延長されたのに合わせ、スケジュールも更新している。
用地買収の状況はどうなっているのか。	9割以上の用地を取得している状況である。
設計変更が必要とのことだが、具体的にどのような問題があるのか。	埼玉県企業局より、調整池の設計のため地質調査を行い、深さや面積について再検討が必要な状況であると報告を受けている。
事業主体である埼玉県企業局が説明会に出席していないのはなぜか。	埼玉県企業局による説明の実施に向け調整を進めてきたが、上記理由により説明ができない状況となった。今後も引き続き調整を行っていく。
市長が説明会に出席していないのはなぜか。	事業を所管するまちづくり推進課が説明会を実施している状況である。意見については市長に報告する。
現在のスケジュールで企業誘致に影響はないのか。	県と市の役割分担の中で企業誘致は県の役割となっているが、市としても働きかけを行っている。
総事業費はいくらか。	埼玉県の予算については、令和元年度から令和6年度までの継続費として約124億円が計上されている。また、令和4年度の市の予算として、県道三芳富士見線の用地取得業務費約4900万円を計上しており、そのうち約4600万円は県道を管理する川越県土整備事務所からの道路整備委託金として歳入に計上している。

<p>水害について心配している。市民の不安を取り除くために、要望に応えるべきではないのか。</p>	<p>雨水流出抑制の考え方に則り、開発区域内の田んぼや畑が持つ貯留・浸透機能が開発によって失われないよう調整池を整備し機能を確保する計画となっている。</p>
<p>資料P.21の雨水の流れについてもう一度説明してほしい。</p>	<p>産業団地内に降った雨水は調整池に集約・貯留し、流量を調整したうえで排水処理を行う計画となっており、その流れを示したのが青の点線となる。また、黄色と赤色の矢印は産業団地外の水路の流れを示しており、通常時は黄色の矢印の方向に流れ、大雨時には赤色の矢印の方向からA・B地点で産業団地内の水路に接続し、調整池に流すことで地区外の雨水を受け持つ計画となっている。</p>
<p>資料P.14の雨水条例を遵守した上で開発を進めるという認識でよいのか。</p>	<p>雨水条例の目的は、過去の水害の履歴をもとに、湛水想定区域での開発による水害の発生・拡大を防止するために規制を行うものである。今回の開発でも従前の田んぼ・畑が持つ貯留機能を確保するために調整池を整備する計画となっている。</p>
<p>調整池が満水になってしまう確率はどのくらいなのか。</p>	<p>従前の田んぼ・畑の貯留機能を確保する目的で調整池を整備するため、従前の能力以上の水量が発生した場合にはあふれる可能性がある。開発区域内の公園部分などにも貯留機能を持たせることで従前より多くの貯水容量を確保できるよう検討を行っている。</p>
<p>調整池が満水になった場合、どのようなタイミングで排水を行うのか。</p>	<p>調整池の設計状況などを踏まえ、運用について検討していく。</p>
<p>尺地排水機場のポンプを3基から4基に増設してほしい。</p>	<p>排水先の河川管理者と協議し決定した排水量が3基分となっていることから、増設はできない状況である。</p>

【意見】

今回の整備区域は水害が発生しやすい場所である。他にも、排水機場には非常用電源が設置されておらず、運用についても市民に周知されていない。整備区域の災害リスクを十分に理解した上で再度設計見直しを求める。

調整池や尺地堀が満水になることを心配している。水害に対して十分な対策を講じてほしい。説明会の開催時間についても働いている方に配慮が必要である。また、市道72号線の工事について、地面に穴が開いていて通行する際危険である。実際に足を運んで現地を見たうえで、後日対策を示してほしい。